

芙蓉

vol. 68

2020.5月 発行



社会福祉法人 芙蓉会

〒417-0001 静岡県富士市今泉2220番地
TEL (0545) 55-1118 FAX (0545) 55-1119
<http://www.fuyoukai.org>

児童養護施設	ひまわり園	TEL.0545-52-0402
地域小規模児童養護施設	ひろみ	TEL.0545-22-1281
乳児院	恩賜記念みどり園	TEL.0545-53-5665
企業主導型保育施設	さくら保育園	TEL.0545-55-1118
特別養護老人ホーム	みぎわ園	TEL.0545-55-1800
ショートステイ	みぎわ園	TEL.0545-55-1877
通所介護	デイサービスセンターみぎわ園	TEL.0545-55-1800
通所介護	ふようデイサービスセンター	TEL.0545-52-1397
居宅介護支援事業	ふよう居宅介護支援事業所	TEL.0545-52-5500
地域包括支援センター	富士市吉原西部地域包括支援センター	TEL.0545-30-8324
在宅介護支援センター	みぎわ園	TEL.0545-55-1811
看護小規模多機能	みぎわの里	TEL.0545-30-7952

「新たなチャレンジ」

特別養護老人ホームみぎわ園 戸巻 俊裕

福祉の人材不足が全国的に騒がれる中、令和2年3月末、特別養護老人ホームみぎわ園に職員として新たなメンバーが加わりました。法人での新たなチャレンジであります。それは異国の地東南アジア、ベトナム共和国より来た介護技能実習生の2人です。東南アジア経済連携協定(EPA)の一環とした外国人雇用での技能実習制度や特定技能実習生の受入れ制度であります。この受入れについては以前より検討を重ねた中で、令和元年7月鳩の家協同組合(県東部地域受入れ監理団体)の協力の下、ベトナムへ受け入れの為に面接に行ってきた。彼女たちは、ベトナムのDONGTHAP(ドンタップ)医療短期大学を卒業し看護師の資格を取得後、日本での学生就労資格取得の為に、SULECO(スレコ日本語学校)で1年間の寮生活をしながら日本語と介護職の基礎知識を学んでいました。面接の場で「食事は寮の食堂が工事中の為に、外の屋台で山盛りの野菜を食べている」と話すので「ベジタリアンですか」と聞くと、「これはお金が安く、お腹が満たされるから」と話し、「お金のな

い学生は、野菜も食べれずに水を飲んで満たす」と一生懸命に覚えてた日本語で話をしながら自己紹介をしてくれました。日本へ行く事を夢見ながら頑張っている姿に感動しました。又、彼女たちは、「日本に居る高齢者に日本の介護技術を早く覚えて介護をしたい」とも話してくれました。

技能実習生としてベトナムから入国するには日本語検定資格N4の取得が入国条件です。特に日本語は諸外国に比べ難しい言語とも言われ、文字も漢字・ひらがな・カタカナ・ローマ字と様々に使い分けて生活をしています。そんな私達の日本、芙蓉会みぎわ園に夢を描きながら来た2人を、私たち全員で協力し合い、人との関わりを大切に、温もりを持って、仕事では失敗しても良い、次に繋がる学びを伝えながら、日本の介護技術の習得に向けてゆっくりと見守りたいと思います。彼女たちの母国へ帰った時、夢の実現への一助となれるよう、私たちも共に学び成長出来ればと思っています。

デイサービスセンターみぎわ園

歌や演奏など
楽しみました♪



クリスマス

節分

かわいい鬼と
記念撮影!



童心に返って
紙飛行機飛ばし☆



順番に踏んで伸ばして、
手打ちうどんを
作りました!

日常の様子



もしも!に備えて、
避難訓練。



みんなで茶を
点てました。



ふようデイサービスセンター

初詣

年明けより、三田市浅間神社へ初詣に行ってきました!

お参りをした後にはおみくじを引いたり、お守りを買ったりと皆様それぞれに楽しみました。



ぶり解体ショー

ぶりが美味しいこの季節♪目の前で捌いていただきました! 生で見る職人技に釘付けでした。ぶりは脂が乗っていて最高☆



豆まき

2月初旬には豆まきを行いました! 一年の厄を祓うため、「鬼は外!福は内!」の掛け声とともに皆一生懸命に鬼退治です!! 昼食は恵方巻きを作り、西南西を向きながら美味しく食べました☆



みぎわの里



1月、初めての新年会を行いました。ボランティアの長谷川様による『ヒーリング二胡』の演奏や、ご利用者による『新春・カラオケ大会』、職員による『獅子舞』、お昼には『鍋パーティー』で賑やかに新年を迎えました。



祝 5周年



2月、みぎわの里の5周年祭を行いました。おでかけクラシックの皆さんに『フルーツ3重奏』を披露して頂きました。昼食をバイキングにしたり5年間の歩みを写真として掲示しました。6年目もたくさんの笑い声を響かせたいと思います。



みぎわ園

みんなでホットケーキ作り!!大きいホットケーキが食べたくてついつい大きくなっちゃう!!

お誕生日のお祝いもしました!! これからもどうぞお元気でいてください。



3月3日はひな祭り 顔はめパネルでハイチーズ!!!



＊ひまわり園＊

昨年もたくさんの方々からご支援を頂きました。納得住宅工房様、富士中央ライオンズクラブ様、フロンティアジャパン様、ADEKA様、ワールドメイド様、まかいの牧場様、富士豪傑フォーラム様、ワイワイカンパニー様、ABC基金様、たくさんのご支援ありがとうございました。また、プロレス観戦、かっぱ座、音楽芸術鑑賞など、ご招待頂きありがとうございました。



たくさんのお菓子と
自転車も頂きました

いつも
ありがとう



富士中央ライオンズクラブ様



お菓子を頂き
じゃんけんもしました



ワールドメイド様



UFOキャッチャーを
楽しみながら景品も頂きました



フロンティアジャパン様

自分たちでついたお餅、
あったかい豚汁も
美味しかったです



ADEKA様



みどり園

〈お楽しみ会〉 12月

12月のお楽しみ会は、クリスマス会でした!画用紙で出来た大きなツリーにディズニーキャラクターのオーナメントを貼って飾り付けしました。出し物では、パプリカとミッキーマウスマーチの曲に合わせてダンスを披露しました。みんなとても上手に踊っていました!

昼食は、お星様いっぱいクリスマスメニューでした!たくさんおかわりして食べていました。



〈お楽しみ会〉 1月

1月のお楽しみ会では、獅子舞を作りました!目や鼻などのパーツを獅子の顔に貼り、白い絵の具で体に模様を描き、素敵な獅子舞ができました。

そして、今年はねずみ年ということでねずみの帽子やカチューシャをつけて写真を撮りました。みんなポーズもバッチリ!!



〈お楽しみ会〉 2月

2月のお楽しみ会では、鬼のパンツを作りました。シールを上手に貼り、素敵な模様の鬼のパンツが出来ました!

その鬼のパンツを履いて、豆に見立てたボールをダンボールで出来た鬼に投げて豆まきをしました。「オニハントー!」と言いながら楽しそうに投げていました。

昼食は鬼のドライカレーでした。「オニ!!!」と言いながらモリモリ食べていました。



3月のお楽しみ会は小グループでお出かけしました。 3月

ひろみ

親成人

成人を迎えた卒園生の晴れ姿。社会に出てから、色々なことに悩み、乗り越え、少しずつ大人に成長していく彼女。そんな彼女を見守ってきた大人達に囲まれ、祝福されていました。恥ずかしくも嬉しそうな表情と、彼女を見つめる大人の温かく優しい眼差しが、印象的でした。



「子どもとお年寄りの幸せを目指して」～創立の理念・精神を傳承するために～

新型コロナウイルスによる感染症が猛威を振るっています。日本政府はこのウイルスに対抗するための諸策を講じ、様々な通知を発出していますが、見通しがたらず現時点では何時何処で感染するか分からないような状況になっています。社会福祉法人芙蓉会の主要事業は、24時間体制で365日継続した稼働が求められるため、利用者の安心や安全を守るべく、この目に見えない強敵に対して既存の感染症対策の見直しと強化を図り、できる限りの対応を行い、利用者への安心や安全を守ります。

政府が示した働き方改革関連法案や、女性活躍・ハラスメント規制法の成立にとともに、労働施策総合推進法、男女雇用機会均等法、育児・介護休業法など5本の法律が一括改正され、同一労働同一賃金、勤怠管理の徹底をはじめとする職場の精神衛生を含む労働環境の整備が求められています。

これは、今まで精神論で維持されていた部分が大いに対人援助サービスを行う福祉の職場、社会福祉法人には様々な見直しを行う要件が提示されました。社会福祉法人芙蓉会は、利用者本位・利用者第一主義を基本にサービスを提供してきましたが、福祉の現場は慢性的な人手不足の状態であり、求人を行っても応募がありません。介護福祉士や保育士等の専門職の養成校も定員割れを起こしている状況で、次の世代を担う人材の確保に苦慮しています。一方、求職者を取り巻く環境は、スマートフォンを持ってほぼどこに居ても求人情報が閲覧でき、サイトに登録すれば自分の希望する職種の人材情報を勝手に紹介してくれるばかりか、労働条件や給与面の比較が簡単にできる時代になりました。まさに売り手市場の状況が続いており、求職者には魅力のある職場環境と、その職場情報の発信が求められています。

このような状況の中で、当法人を利用する方々の最善の利益の追求と、地域などから求められる公益事業の展開を継続するために、必要な人材を確保するための方策を根本的に見直し、法人や、施設の職場環境のアップグレード等の方法を充実させて新たな人材を確保する事、当法人を選んで働いてくれる職員の誰もが安心して仕事が続けられる労働環境を整備する事、職員自身がキャリアアップする事に対してモチベーションの維持ができる事の三点を主軸に、先進の作り上げてきた思想や理念・支援技術を継承し、進化・発展させる次の世代の人材の確保や、育成をおこなう事業を展開する年度とします。

「法人本部」

社会福祉法人は、平成28年の社会福祉法改正により、経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上等の改革を行ってきました。また、人口減少や急速な高齢化等の社会構造の変化の中で、社会福祉法人の責務として、既存の社会保障制度や社会福祉制度では対応が困難な地域ニーズを積極的に把握・対応していくことが求められています。一方、生産年齢人口は、令和7年以降さらに減少が加速するなど、令和22年に向けて現役世代(担い手)の減少が課題となっており、地域包括ケアシステムの構築や地域共生社会の実現等、地域で連携してサービス提供することが求められてきているところでもあります。

以上を踏まえ、社会福祉の人手不足などの問題が深刻化することが見込まれるなか、地域における社会福祉サービスを確保するとともに、社会福祉法人が地域貢献の取り組み等を一層進めていく必要があると考えられます。

社会福祉法人芙蓉会は令和2年6月で創立117周年を迎えます。法人理念の下、地域社会との信頼関係を構築し、質の向上とガバナンスを高めていくことが重要と考えており、更なる透明性(情報公開)・倫理性(苦情解決)・組織性(内部監査・監事監査・外部監査)の積極的な取り組み姿勢、労務管理、地域貢献活動(買い物困難者への支援事業)の実践を推進して参ります。

今年度は、新任職員研修及び中間管理職研修と新たにハラスメント相談窓口者を対象に立石雅世弁護士と塩谷知一弁護士による研修を開催し、働きやすく魅力ある職場づくりと職員の資質向上に努め、より質の高いサービス提供を目指して参ります。さらに、良質な福祉サービスの継続的な提供に向けて、人材確保、育成、定着が最重要課題となっており「福祉の仕事の魅力」の発信(WEBの有意義な活用等)に向けて不断の努力を重ねて参ります。

「児童養護施設 ひまわり園」

令和元年度に「静岡県社会的養育推進計画(案)」が策定されました。その策定に伴い各施設は今後10年間の計画案提出を求められ、十分な説明も議論もされないまま県に提出することになりました。国の方針として「里親委託の推進」「施設の小規模化・地域分散化」「多機能化・高機能化」という方向性は確定しており、児童養護施設はその方針に則った運営計画を立てよう求められました。施設の将来計画を策定するためには、財政基盤の保障なくしてできる善はないのです。あまりにも強引に国は推進しようとしています。

そうした方針の影響が、静岡県内の殆どの児童養護施設は定員割れを起こしており、ひまわり園においては、昨年度暫定定員69名(定員75名)だったのが入所児童数の伸びが見られず、更に保育士不足による1ユニット閉鎖の影響によって、毎月の初日に在籍児童数は平均48名と過去にない少人数での運営を余儀なくされました。そのため令和2年度は暫定定員62名になる見込みとなりました。このことは今後の施設運営に少なからず影響を及ぼすものであり、特に問題になるのは、平成8年に定員90名で改築した本施設維持管理費用です。

本施設で小規模グループケアを実施するためには、「早期家庭復帰や里親委託等に向けた専門的な支援を積極的に行っていること」「高機能化及び多機能化・機能転換、小規模かつ地域分散化に向けた職員の人材育成を行っていること」「概ね10年程度で小規模かつ地域分散化を進める計画を、人材育成も含めて策定していること」という条件を満たさねばなりません。更にユニットの児童数は従前の6人以上8人以下から「6人」に修正され、「各ユニットに玄関があること」が新たに条件として追加されました。これによって今後小規模グループケアを増やしていくためには建物構造の改築が必要になってきます。現存建物を改築しない限りは申請自体ができなくなってしまうこととなります。ひまわり園としては、本施設建物の老朽化に伴う壁紙・天井・床の補修工事を優先的に実施しなければならず、これに関して補助金請求は難しいため令和2年度に自己資金で実施するほかないと考えています。その他の設備に関しては、今後の小規模化の計画と共に平行して行う事になると考えます。

ひまわり園では、国の政策に対応する今年度の方針として、「地域小規模児童養護施設ひろみ」の改築計画を進めたいと考えています。「ひろみ」は平成13年度に開設しましたが、以前は中古住宅を購入して「自活ホーム」として建物を使用していました。建物は耐震工事が一部改修等で現在の状態を保っていますが老朽化が著しいため、改築に向けての準備を具体的にしたいと考えています。

ひまわり園は平成8年の改築までは職員は住み込みが基本でした。職員は子どもたちと起居を共にした暮らしをベースに、子どもたちを養育してきました。現在の建物に改築した時に通勤制に勤務を変更しましたが、ひまわり園は「おはようからお休みなまで同じ顔がそこにあること」「縦割りユニットを基本にして年齢等でユニットを変えない」ということを大切に勤務を基本に据えて体制を進めてきました。現在、指導員・保育士の平均勤続年数は9年11ヶ月で、職員が口々に言うのは「縦割り」で子どもの成長を見続けることができるから長く勤務してこれたこととです。しかし現実的な問題として、保育士の宿直は労働基準監督署の許可を得ているとは言え概ね3日に1回あり、また土日、祝祭日、夏休み等の長期休暇では平常勤務以上の長時間児童が施設にいることになるため、実質の超過勤務時間が増えるにもかかわらず十分な保障ができていないのも事実です。建物の構造上の問題、ユニットの児童構成を含め、労働条件の改善を検討しなければなりません。この問題についても今年度の重要な検討課題としてあげざるを得ません。

「地域小規模児童養護施設 ひろみ」(ひまわり園加算事業)

本施設の支援のもと、地域の中での生活体験を基盤に家庭的な環境の中で、より個別的な関わりを持ちながら個別のニーズに沿った支援を提供することを目指します。

入所児童へは本施設の支援のもと、児童相談所や学校などと連携し落ち着いた生活が送れるように支援していきます。

今年度末に1名が自立する予定です。各関係機関と連携し自立へ向けた支援をしていきます。また退所後、安

定した生活が送れるようにアフターケアについても具体的な計画を立て、各関係機関の協力を求めています。

地域のボランティアの方との関わりや、地域のイベントに参加することで、地域との関わりが広がりが出てきました。引き続き、地域の行事や日常の関わりを通して、施設への理解や関係が深まるよう努めていくと同時に、地域で生活している児童福祉施設が地域の福祉や、まちづくりはどう関わっていくのか、何が出来るのか職員で考えていきたいと思います。

また建物の老朽化が進んでおります。家屋の新築や移転など、具体的な計画を立てていく中で現場の意見も積極的に発信し、計画が円滑に進むよう努めていきます。

令和2年度は本施設施設の支援のもと、以下の基本目標に基づき職員の技能向上および児童養護サービスの向上に努め、安全で安心な暮らし子どもたちに保障し、社会的自立並びに家族再統合に向けて関係機関、地域、学校、保護者と連携・協働して事業を推進します。

「恩賜記念 みどり園」

改正児童福祉法や、平成29年8月に示された「新しい社会的養育ビジョン」では家庭養育優先の原則を推進し、乳児院・児童養護施設等には、家庭での養育が難しいケアニーズの高い子ども達の養育と、親支援(里親や地域家庭を含む)等、施設の専門性を高めてさらなる家庭復帰、親子再統合を図っていくとともに、里親や特別養子縁組を含む在宅家庭への支援を行うこと等、児童福祉施設の高機能化及び多機能化、小規模化・地域分散化を進めるように強く求めています。

それに伴い「新しい社会的養育ビジョン」では社会的養育を担う施設の養育に必要な職員を配置するように国に求めていたが、現時点では乳児院に関する職員配置等についての改善は示されていません。養育単位の規模化や分園化には職員の配置増が必要要件ですので、分園や高機能化や機能強化に関する計画が進められない状態にあります。

しかし令和2年3月よりみどり園内に企業主導型保育施設さくら保育園の開設を行いましたので、乳児院の施設面積に関する変更を行い、保育園との連携をとりながら、みどり園を必要としている子ども達の安心や安全を守ることを第一義として、また巣立っていった子ども達の足跡を守る家庭に変わる場所としての役割を堅持すること、小規模化を考慮した養育環境の整備を行い、地域の家庭支援を中心としたニーズに応えられるような施設機能の強化を基本とした事業計画を作成しました。これに加えて、国より示された「働き方改革」の趣旨を考慮し、24時間365日稼働している社会福祉施設での労働環境の整備を模索することや、園舎北側の土地で行う分園型小規模グループケアを中心とした施設の建設計画と、実施可能な付帯事業についても行政機関との調整しながら事業開始に向けて必要な人材の確保や養成についても事業に盛り込みながら、事業を進めます。

定員は乳児30名ですが、入所児童の減少から暫定定員での事業となるため、必要に応じて積立金の取り崩しを行います。

「特別養護老人ホーム みざわ園」

日本が様々な意味で注目される年となる事が予測されます。加えて、国際状況は米中貿易摩擦、中東情勢の緊張激化、さらに中国における新型コロナウイルスによる世情不安など様々な影響が考えられるところです。

労働者環境に於いては、「働き方改革」をキャッチフレーズに、働く環境への整備と充実が叫ばれる年でもあります。そのような中、2025年問題とした団塊の世代が75歳を迎え、介護保険サービスの受給者が更に増える事が予想され、その背景を見た時、介護人材の不足が深刻な状況になる事が懸念されています。人材確保の施策については急務であり、新卒採用に向けて年度当初より募集エリアを静岡県の他、県を越境しての行動の下で、新たな人材確保に向け就職セミナー・大学及び専門学校に対して幅広く募集をかけて行く必要があると考えられます。

同時に直接介護に携わる職員の働き方の再検討を進める事も計画して行きます。

本年度より外国人雇用、ベトナム社会主義共和国より技能実習生を受け入れ、外国人の人材を登用した実践が進められます。

一方で、職員の介護スキルアップを目的とした研修も綿密に組み上げ、職員一人ひとりのステップアップに期待をしています。加えて、IoT及びICTを活用した介護現場の業務改善への取組みも検討の一つとして行う必要があるように思われます。

令和2年度は、3年毎に改正される介護保険報酬基準の最終年であり、介護保険料の拠出が膨大に嵩む中、厚労省としては利用者への自己負担の増額が求められ、その背景の下で介護サービス事業所へは、様々な要望が求められる事も予測されます。この様な中でも対応出来る施設として、また選ばれよう時代に即した入居系、在宅サービスへの経営、運営努力が必要となって来ます。

介護事情の変化と共に地域のニーズに即した介護提供を進める上で、現ふようデイサービスセンターの進化を期すべく内容の充実を図り、施設移転を含めた検討を行っています。

昨年度、富士市との間で福祉避難所として、災害時対応者(要支援者)救護施設として連携を結び災害時受け入れ施設としての整備を進める中、非常用自家発電設備を整えた所でもあります。

東南海地震及び風雨災害等に備えるべく整備の充実を図り、継続的に持続性のある計画実施と介護ニーズに沿った事業計画とします。

「さくら保育園」

乳児院・児童養護施設、特別養護老人ホームの方々と触れ合える環境の中で、季節の伝統および行事を大切にしながら一人ひとりの成長を見守り、心と体を豊かに育てます。

ありがとう

たくさんのご寄付をいただきありがとうございました。お礼を申し上げますとともに、ここに紹介させていただきます。(敬称略)

- (株)アオノ ■ 井上建設(株) ■ いいずみファミリークリニック ■ 池田義教 ■ 碓井真由美
- (有)エイ・アンド・エイ ■ 圓妙寺 ■ 小穴菅登 ■ 太田智 ■ 沖本富夫・洋子 ■ 勝又洋子 ■ (株)カミオ
- 梶本直正 ■ 門司一徹 ■ 神田五郎 ■ (株)かつまた ■ 加藤俊洋、由香 ■ 協栄空調(株) ■ 菊池正治
- 木本小百合 ■ 静岡恵明学園 理事長 杉村伸一 ■ 小林悠真 ■ 小西徳三 ■ (株)コーラ ■ 佐野正
- 佐藤昌之 ■ 佐藤みどり ■ サンコー防災(株) ■ 清水銀行 ■ 白井ひろみ ■ シャトレーゼ富士店
- 杉山幹根 ■ 須藤和夫 ■ 鈴木庸由 ■ 清都 ■ 高橋武雄 ■ 高橋ハヤ ■ ダイエー工業 鈴木重勝
- (有)大富士 ■ (株)大松園 ■ 月岡医院 ■ 戸巻紀美子 ■ トレンドマイクロ(株) CRS チーム
- 行木秀和 ■ 虹の会 代表 味岡佐千代 ■ 日本鏡餅組合 ■ 布田保孝 ■ 早川博美 ■ 美影館
- ビーバースカウト ■ 富士信用金庫今泉北支店 ■ 深澤良子 ■ 藤巻利治 ■ 文屋 代表 木下豊
- (株)プレナスほっともっと事業本部 ■ 保科会計事務所 ■ 星野太郎バッグデザイン研究(株) ■ (株)松野精肉店
- 公益財団法人毎日新聞東京社会業団 ■ (有)松永精巧 松永秀彦 ■ 美濃部みどり ■ 妙立寺 ■ 望月晃
- ヤマグチ電機(株) ■ 山田賢一 ■ (株)ライフプラザアドバンス

(R1.11.23~R2.2.28)

後援会からのお知らせ

多くの方々から後援会費を送金いただき、心より感謝申し上げます。また新規のご入会も随時受けつけております。子どもたちのため、おとしよりのために、あたたかいご支援いただけますよう、ご入会をお願いいたします。

会費の振込先は下記の口座にて承ります。

年間会費 } 1□ 1,000円 会 社 } 1□ 3,000円
個人会費 } 団体会員 }

振込先(郵便局振替口座)

・口座番号 00880-0-2423 ・口座名称 芙蓉会后援会

何□でも
結構です

他の金融機関からのお振込を受ける際にご指定いただく口座情報は、右記のとおりとなります。

銀行名 ゆうちょ銀行
店 名 O八九店
預金種目 当座
口座番号 0002423
口座名義 フヨウカイコウエンカイ

寄付のお願い

芙蓉会は、皆様方のご支援に支えられながら今日を迎えております。一人ひとりの想いのこもったご寄付は、社会福祉事業を推進していく上での大きな支えとなっております。年間を通して寄付金をお受けしておりますので、何卒ご協力の程よろしくお願い致します。

今後とも変わらぬご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

振込先

銀行名 静岡銀行 吉原北支店
預金種目 普通預金
口座番号 0817169
口座名義 社会福祉法人芙蓉会 理事長 内藤好彦
シャカイフクシホウジンフヨウカイ
リジチョウ ナイトウヨシヒコ

目安箱

(R2.1月~3月) ※今回、他の施設はありませんでした。

●ひまわり園

内容：絵本の寄付をしたが、ホームページに掲載されていない。



対応：迅速に対応し、ホームページに掲載させて頂きました。大変申し訳ありませんでした。

内容：野良猫が屋上に上がり込んで鳴き声をする。



対応：職員が屋上から出して、入り込めないように対応しました。

編集後記

新型コロナウイルスが世界中で猛威をふるっております。編集を終える頃に至りましても、時々刻々と情勢が変わっておりますので、今回が皆様のお手元に渡る時には、どうなっているか予想が出来ません。状況が良い方向に向っていることを願ってやみません。

当法人でも各施設で出来る限りの感染の予防対策を図り、情勢を見て、慎重に対応しているところでもあります。皆様におかれましても、ご自身の健康管理と感染予防にご留意下さい。